

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・飲食店を中心に若手の経営者による空き店舗への出店が出てきた。それに伴い秋口に向けて、夕方、夜の客が増えて売上も上昇してくると思われる。
		乗用車販売店（営業担当）	・当社は8月末に新型軽乗用車を発表するため、新型効果で良くなる。
	変わらない	百貨店（売場担当）	・必要なものしか買わない傾向が強まっているため、秋物商戦は苦戦が予想される。
		スーパー（店長）	・大きな変化はないが、ガソリン、その他の値上げの程度で景気が悪くなる。
		スーパー（店長）	・厳しい状況に変わりはないが、ガソリンや食品の値上げが落ち着けば現状と変わらない。ただし、惣菜や売れている食品を中心の品ぞろえ（種類や内容量）や価格、販売方法の強化が必要だと感じている。
		乗用車販売店（従業員）	・県内の新車販売の動きを見ても、良くなる兆しが全くない。8～9月に各社新型車が出るが、販売量が上昇するとは考えにくい。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格の高騰に伴い、3,000cc以上の中古車は売れなくなっており、価格が大幅に下がっている。
		観光型旅館（経営者）	・3か月先が、特に悪くなるような予約状況ではない。旅行業界は、原油高で交通関係にも大きな問題があり、先が見えないということもあるが、極端に悪くなるとは思わない。
		旅行代理店（従業員）	・秋の行楽シーズンに入るが、物価高で節約ムードになっており、旅行は相当影響を受けると予想している。
		タクシー運転手	・例年10月は売上等が下落するが、今年は、高知市内は特区の指定になり、全国でも4県（北海道、長野県、高知県、沖縄県）増車を認めない、新規参入もダメということで、タクシー業界は底である。
		タクシー運転手	・各種の物価高騰により、利用客の増加は期待できない。
		タクシー運転手	・また来月もガソリンが値上げという話であり、タクシー利用を控える動きがますます大きくなる。
		通信会社（支店長）	・総じて景気は緩やかに回復の兆しが見え隠れしているが、現状とほとんど変化はないものとする。
		通信会社（管理担当）	・新規需要は年度当初から想定を下回る状態で推移しており、取替需要については、端末のサイクルがやや長期化することが想定されるため変わらない。
	ゴルフ場（従業員）	・来客数が横ばいになっている。予約も今年は少し弱めになっており、全体的に不景気になっている。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・必需品と良質な低価格商品しか売れない。百貨店やス・パ・の時代も終焉に近い。
		百貨店（営業担当）	・ファッション商品のクリアランスは単品買いに終始し前年割れとなっている。ラグジュアリー商品も過去になく落ち込んでいる。ファッション感度の高い商品ほど購入意欲が見られない。
		百貨店（営業担当）	・いろいろな物が値上がりしている状況に歯止めが掛らないことで、生活に不安があるため、少しは蓄えを考えて、消費は消極的になり、更に景気は悪化すると思われる。
		百貨店（販売促進担当）	・新規出店の影響が関係してくる。
スーパー（企画担当）		・値上げ報道のあおりで、消費者心理は冷え切っていると考えられる。値上げ部分のクローズアップにより、一時期安心・安全を求めていた消費者心理が陰り、値段の安さばかりが強調されてくる。	
スーパー（財務担当）		・食の問題で中国産から国内産への回帰が加速しており、需給バランスから国内産の価格が高止まりすれば、更に消費が冷え込むことが予想される。	
コンビニ（エリア担当）		・コンビニエンスでの消費者の動向は、変わってきている。価格上昇による財布の引き締めというのを感じている。今後、3～4か月後、半年後に掛けて景気が良くなる、あるいは財布のひもが緩くなるということとは感じられない。	
衣料品専門店（経営者）		・8月は、メーカーの協賛を得て、このままバーゲンを延長することで売上が維持できると思っている。全体としては、ガソリンと同時に生活関連商品が非常に値上がりして、客のマインドが冷え込んでいるため先行きは厳しい。	

		衣料品専門店（経営者）	・ガソリン、食料品などの値上げが心理的に実際の購買力以上にマイナスに作用しているように感じられる。衣料品業界の先行きは非常に悲観的である。
		家電量販店（店長）	・エアコン等の夏物に牽引されて数字は好調だが、それ以外のテレビ、パソコン等の売上は非常に厳しい状況である。この傾向が今後も続くと思われる。
		家電量販店（営業担当）	・今月はテレビの需要が上昇しているが、今後は、良い要因が見つからない。
		乗用車販売店（従業員）	・慢性的なガソリン高騰と景気の先行き不透明感で、自動車の販売は落ち込みを続けている。当面、新型車の発売もなく、景気が良くなる要素は見当たらない。
		乗用車販売店（管理担当）	・ガソリンの高騰も、相当な悪影響になっている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・現在は、中元時期で良いが、2～3か月先の我々の業界は、年末までの間に売上の悪い月がある。
		一般レストラン（経営者）	・外食を控え、家で食事をする傾向にあり、昼のランチだけでは非常に苦しい。
		一般レストラン（経営者）	・価格の上昇に歯止めがきかないため、数量の減少で支出を抑える傾向が出てくると思われる。
		都市型ホテル（経営者）	・販売単価が低い状態は続く。現在の予約状況も良くはない。諸物価の値上がりに伴い、ホテルでの飲食は抑えられてくるようになる。
		競艇場（職員）	・石油、食料品など昨今の物価上昇で、レジャーに対する支出を抑える傾向が続く。
	悪くなる	商店街（代表者）	・今月下旬に郊外に大型のショッピングセンターがオープンした。今後、また2～3の出店があり、ますます厳しくなると思われる。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・当地では収入の減少傾向が継続している反面、食品・酒類の価格上昇は激化している。
		スーパー（店長）	・客は買物の内容を、1～2ランク、前年に比べて落としている。今後も値上がりが続く、物価上昇の不況になると思う。
		スーパー（店長）	・県内大手ゼネコンの倒産に伴った連鎖倒産が相次いでいる。やはり物価の上昇、原油高が、非常に県内に影響を与えている状況で、県内の消費は冷え込む一方である。
		衣料品専門店（経営者）	・物価上昇による服の買い控えをしている。
		住関連専門店（経営者）	・原油や食料品が値上がりしているため、2～3か月先は消費が落ちて悪くなる。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・物価の上昇により真っ先に支出を抑えるのが外食であることから、当社は一番に影響があり、状況はこの先もあまり変わらない。
		観光名所（職員）	・原油や物価の高騰によって、消費がかなり冷え込んでいる。
		美容室（経営者）	・このまま各種方面での値上げが続けば、さらに消費が低迷し、景気の悪化が加速する。
		設計事務所（所長）	・新築の建物が非常に少なくなり、業界でも、倒産のうわさがたくさん出ている。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・建築業界は相変わらず悪いが、当社の得意先の状況から、年末に向けて受注量が拡大すると思われる。
		建設業（総務担当）	・地場大手建設業者の倒産により、過剰な価格競争を見直す機運が高まりつつある。
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・冬場になってくると、冷凍麺が良くなると思うが、その他の商品がどのようになるかが問題である。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・今のままで推移すれば、とても採算は取れない。小売業の抵抗が強くて、なかなか価格に転嫁するのが難しい。
		電気機械器具製造業（経営者）	・個人消費の低迷が継続している。
		建設業（経営者）	・建設資材の値上がりが続く、ますます利益が少なくなる。
		広告代理店（経営者）	・流通関係の新規オープン後の販促広告は多少見込めるが、車のディーラー関係等、従来の得意先の広告費削減が大きく、厳しい見込みは変わらない。
	やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・販売先の小売店の状況は厳しく、当社からの値上げにも拒否反応がある。原油価格、食品の値上りによって消費者心理が冷え込んでおり、今後一層この状況は強くなってゆく。
		鉄鋼業（総務・人事統括）	・所得が伸びないなかで物価の上昇が顕著である。

	一般機械器具製造業 (経理担当)	・トラックの値上げの影響で小型クレーンのユーザーの購入 マインドは大幅に低下しており、今後の販売台数にも影響が 出る。高所作業車も通信業界の商談が大幅に減少しており、 厳しい状況が続く。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・当方は、設備業で機械も作っているが、大変引き合いが少 ない。あっても先方に単価を決められるというような状況で ある。見積、提案、色々な形で客と接するが、非常に減って おり、昨年の半分ぐらいの引き合いで、非常に厳しい。
	輸送業 (役員)	・原油価格の高騰により、様々な原価にその影響が及び、一 般消費に加え設備投資にも閉塞感がある。
	通信業 (営業担当)	・原油価格上昇は止まったが、ガソリンは8月上旬にも再値 上げが予定されており、買い控え、行動の抑制などの影響で 個人消費がしばらくは改善すると思えない。
	通信業 (部長)	・新商品の販売開始など消費拡大への手掛かりはあるもの の、ここ数か月の販売実績から見て販売数量の拡大が期待で きる状況は考えにくい。店舗への来客数も低位に推移してい る。
	不動産業 (経営者)	・不動産業者だが、ずっと悪い状況が続いている。今の状況 で好転する要素は見当たらず、更に厳しくなることが予想さ れる。
悪くなる	輸送業 (経営者)	・物価の上昇やガソリン高騰等、不安材料しか浮かんでこな い。
	公認会計士	・各企業の経営者との話では、会社が倒産しそうだと か、資金繰りが悪いらしいとか、銀行が投資に対しての 資金、貸付を渋っているといった話題が増えてきている。
雇用 関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	-
	やや悪くなる	-
	求人情報誌製作会社 (編集者)	・造船関連以外で堅実な求人ニーズはなく、総じて県内で は、途中で優秀な技術者や営業スタッフを補充しようという 動きは今後も見られそうにない。
	求人情報誌製作会社 (従業員)	・景気向上の気配が感じられず、雇用が減少傾向にある。
	職業安定所 (職員)	・6月の新規求人は、前年同月比9.8%、349人減少した。な かでもサービス業が、34.1%、404人減少したのが目立っ た。
	職業安定所 (職員)	・新規求人、就職者共に正社員採用の減少が目立っている。
	民間職業紹介機関 (所 長)	・人の採用について有料の紹介会社を使う企業の比率が減っ てきており、採用費を削減する企業が増えつつある。
	学校 [大学] (就職担 当)	・求人件数と求人者数で見ると、6月の累計が73件 (467 人)、7月の累計が59件 (379人) と、やや減少の傾向が見 えてきている。
悪くなる	人材派遣会社 (支店 長)	・サブプライムローン問題や原油高による景気後退感、派遣 業界の暗い話題などの影響は大きい。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	・急激な物価高による将来の生活への不安が解消されない限 り、消費マインドは冷え込んだままである。
	職業安定所 (職員)	・どの企業もコスト増が深刻だが、消費が冷え込むなか、価 格転嫁に踏み切れない零細・中小が多くなっている。パート の正社員化も進まず、逆に正社員をリストラして、パート化 するという情報も多数入ってきている。